

介護職員初任者研修課程カリキュラム表

科(科目)名	内 容	実施計画	科目番号
(1)職務の理解 (6時間)	①多様なサービスの理解	・介護保険サービス（居宅・施設） ・介護保険外サービス（三木市・社協・その他）	(1)－①
	②介護職の仕事内容や働く現場の理解	・居宅、施設の多様な働く現場における各仕事内容 ・見学での多様な働く現場における具体的イメージ 居宅契約からの一連の流れと地域社会資源との連携	(1)－②
(2)介護における尊厳の保持・自立支援 (9時間)	①人間と尊厳を支える介護	・人権と尊厳の保持・ICF・QOL ・ノーマライゼーション・虐待防止・身体拘束禁止 ・個人の権利を守る制度の概要	(2)－①
	②自立に向けた介護	・自立支援 ・介護予防	(2)－②
(3)介護の基本 (6時間)	①介護職の役割、専門性と多職種との連携	・介護環境の特徴の理解 ・介護の専門性 ・介護の関する職種	(3)－①
	②介護職の職業倫理	・職業倫理	(3)－②
	③介護における安全の確保とリスクマネジメント	・介護における安全の確保 ・事故予防・安全対策 ・感染症対策	(3)－③
	④介護職の安全	・介護職の心身の健康管理	(3)－④
(4)介護・福祉サービスの理解と医療との連携 (9時間)	①介護保険制度	・介護保険制度創設の背景及び目的、動向 ・仕組みの基礎的理解 ・制度を支える財源、組織、団体の機能と役割	(4)－①
	②医療との連携とリハビリテーション	・医療との連携とリハビリテーション	(4)－②
	③障害者総合支援制度およびその他制度	・障害者福祉制度の理念 ・障害者総合支援制度の仕組みと基礎的理解 ・個人の権利を守る制度の概要	(4)－③
(5)介護におけるコミュニケーション技術 (6時間)	①介護におけるコミュニケーション	・介護におけるコミュニケーションの意義、目的、役割 ・コミュニケーションの技法とその実際 ・状況に応じたコミュニケーション技術	(5)－①
	②介護におけるチームのコミュニケーション	・記録における情報の共有化と報告 ・コミュニケーションを促す環境	(5)－②
(6)老化の理解 (6時間)	①老化に伴うこころとからだの変化と日常	・老年期の発達と心身の変化の特徴 ・心身機能の変化と日常生活への影響	(6)－①

	②高齢者と健康	・高齢者の疾病と生活上の留意点 ・高齢者に多い病気と日常生活上の留意点	(6)－②	
(7) 認知症の理解 (6 時間)	①認知症を取り巻く状況	・認知症ケアの理念	(7)－①	
	②医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	・認知症の概念 ・認知症の原因疾患とその病態、ケアのポイント ・健康管理	(7)－②	
	③認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活	・認知症の生活障害、心理・行動の特徴 ・認知症の利用者への対応	(7)－③	
	④家族への支援	・事例から見る家族への支援	(7)－④	
(8) 障害の理解 (3 時間)	①障害の基礎的理解	・障害の概念と I C F ・障害者福祉の基本理念	(8)－①	
	②障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識	・身体障害 ・知的障害 ・精神障害 ・その他の心理の機能障害	(8)－②	
	③家族の心理、かかわり支援の理解	・事例から見る家族への支援	(8)－③	
(9) こころとからだのしくみと生活支援技術 (75時間)	【ア 基本知識の学習 (10～13 時間)】			
	①介護の基本的な考え方	・倫理に基づく介護 ・法的根拠に基づく介護	(9)－①	
	②介護に関するこころのしくみの基礎的理解	・学習と記憶の基礎知識 ・感情と意欲の基礎知識 ・自己概念と生きがい	・適応行動と阻害要因 ・心の持ち方と行動 ・体の状態と心への影響	(9)－②
	③介護に関するからだのしくみの基礎的理解	・人体各部の名称と動き ・神経系の基礎知識 ・利用者の変化に気付く視点	・骨、関節、筋の基礎知識 ・心と体を一体的に捉える	(9)－③
	【イ 生活支援技術の講義・演習 (50～55 時間)】			
	④生活と家事	・家事と生活の理解 ・家事援助の基礎知識と生活支援	(9)－④	
	⑤快適な居住環境整備と介護	・快適な居住環境の基礎知識 ・福祉用具を含めた居住環境整備	(9)－⑤	
	⑥整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	・整容に関する基礎知識 ・整容の支援技術	(9)－⑥	
	⑦移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	・移動、移乗の基礎知識 ・多種の用具と活用法 ・負担の少ない支援方法 ・移動と社会参加の留意点と支援	(9)－⑦	

	⑧食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	・食事の基礎知識 ・食事環境の整備 ・食事と社会参加の留意点と支援 ・用具、食器の活用方法 ・楽しい食事の阻害要因	(9)－⑧
	⑨入浴、清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	・入浴、清潔保持の基礎知識 ・福祉用具の活用方法 ・楽しい入浴の阻害要因	(9)－⑨
	⑩排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	・排泄の基礎知識 ・排泄環境整備と排泄用具 ・快適な排泄への理解と支援方法	(9)－⑩
	⑪睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	・睡眠に関する基礎知識 ・睡眠環境と用具の活用 ・快眠の理解と支援方法	(9)－⑪
	⑫死にゆく人に関連したところとからだのしくみと終末期介護	・終末期に関する基礎知識 ・生から死への過程 ・死に向かい合う心の理解と支援	(9)－⑫
	【ウ 生活支援技術演習 (10～12 時間)】		
	⑬介護過程の基礎的理解	・介護過程の目的、意義、展開 ・介護過程とチームアプローチ	(9)－⑬
(10)振り返り (4 時間)	⑭総合生活支援技術演習	・生活支援の流れの理解と技術の習得 ・心身状況に合わせた介護の視点を習得する ・事例による展開から専門的技術を学ぶ	(9)－⑭
	①振り返り	・研修で学んだことから継続して学ぶべきこと ・根拠に基づく介護についての要点	(10)－①
	②就業への備えと研修終了後における継続的な研修	・継続して学ぶべきこと	(10)－②

※ 実施計画欄には、申請者が実施する研修内容を記載すること。

※ 実習を行う場合は、「(9) ところとからだのしくみと生活支援技術」内の「ウ 生活支援技術演習」内で、12 時間以内とする。

※ 実習受入担当者による指導ではなく、研修担当講師による指導の一環として行われる施設の見学は、「(1) 職務の理解」及び「(10) 振り返り」で行うことができる。